

2021年4月1日

## 2021年度新入社員に向けた社長あいさつ(要旨)

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 代表取締役・社長：増井 敬二）は、新入社員 454 名（事務・技術職 116 名、技能職 338 名）の入社式を行いました。今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染防止策として、分散開催としました。入社式での社長あいさつ（要旨）は以下のとおりです。

### 【社長あいさつの要旨】

今日から新たにトヨタ車体の仲間となりました新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。454 名の新しい仲間を迎えることができ、大変うれしく思います。今年も新型コロナウイルスの影響により、入社式が分散開催となり、皆さんの顔を直接見ることはできませんが、今後、様々な場で、皆さんの若さ溢れる笑顔を拝見できるのを楽しみにしています。

自動車業界は今、100 年に一度と言われる大変革期の真っ只中で電動化や自動運転などの技術革新に加えシェアリングの普及など、事業の大前提が変化しようとしており、会社の生き残りをかけて取り組んでいかなければなりません。このような大変革期に入社される皆さんに、次の 2 つの事をお願いしたいと思います。

1 つ目は、**何事も自分事としてとらえ、チャレンジしてください。**

今後、それぞれの職場に配属されますが、今まで職場にいる先輩たちでは気づかない、新人ならではの気づきがあります。新人だからと遠慮せず、自分事として声を上げてほしいと思います。

当社は、昨年 No Border プロジェクトという新しい取り組みを行ってきました。これは組織のカベを無くし、それぞれの限界を超えてチャレンジしていこうという取り組みです。競争力の強化や、職場風土、働き方の変革などに、まさに全従業員でチャレンジしている最中です。

そういった中ですので、きっと周りの上司や同僚たちも、皆さんの行動の後押しをしてくれるはずで、一人ひとりがチャレンジするのを期待しています。

2 つ目は、**感謝と謙虚な気持ちを持ち続けてください。**

皆さんが今この場にいるのは、自分だけの力ではなく、周りの支えがあったからだと思います。ご家族や学校の関係者など数多くの方の協力があったことを決して忘れないでください。また、これから社会人として過ごしていく中で様々な人たちと関わっていくと思います。そんな中でも常に周囲の人たちの協力があるということを忘れずに、謙虚な気持ちで社会人として成長してほしいと思います。

コロナ禍の収束が見通せない状況ではありますが、必ず克服できる時が来ると信じて、今できることを一生懸命頑張りたいと思います。そして、より良い社会、会社にしていけるよう一緒に頑張っていきたいと思います。

世界のくらしに 笑顔を届けたい

